



平成30年1月9日

各 位

会社名 株式会社リプロセル  
代表者名 代表取締役社長 横山 周史  
(コード番号: 4978)  
問合せ先 取締役 C F O 臼井 大祐  
(TEL. 045-475-3887)

## 米国 Q Therapeutics Inc.との合弁会社設立に向けた基本合意のお知らせ

当社は米国Q Therapeutics Inc. (キューセラピューティクス、以下、Qセラ社) との間で、中枢神経領域の疾患を対象としたiPS細胞由来再生医療製品の共同研究および実用化を目指す合弁会社の設立に向け、平成29年12月28日付で基本合意いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 基本合意の背景および内容

当社は、再生医療事業への参入において中枢神経疾患を重要なターゲットと定め、既に台湾Steminent Biotherapeutics Inc. (ステミネント社)との協業により、同社の体性幹細胞由来再生医療製品Stemchymal® (ステムカイマル) について脊髄小脳変性症を対象とした国内での治験開始に向けて準備を進めております。更に将来的には、体性幹細胞では成し得ない再生医療をiPS細胞の技術で実現することを目指しています。特に当社は独自の強みとして、次世代のiPS細胞作製技術であるRNAリプログラミング法により、遺伝子変異リスクを最小化し、外来遺伝子やウイルス残存リスクのない、高品質で臨床応用に適したiPS細胞を作製する技術を保有しています。

一方Qセラ社は、ヒト胎児由来の組織から神経グリア細胞 (GRP、製品名Q-Cell®) を製造する独自の技術を保有しています。同社は中枢神経領域の様々な疾患に関する動物疾患モデルにおいてQ-Cell®の安全性及び有効性を示すデータを取得しており、米国FDA\*1に対して、筋萎縮性側索硬化症 (ALS) および横断性脊髄炎 (TM) を対象疾患とした治験申請 (IND) を完了しております。

しかしながら、Q-Cell®は細胞ソースとしてヒト胎児由来組織を用いることから、品質の安定した細胞を大量に確保することに限界があり、同社は臨床応用に向けて既存のQ-Cell®の開発を進めつつ、将来に向けて大量培養に適したiPS細胞技術の導入を計画していました。

このような背景から、平成29年11月29日に「米国 Q Therapeutics Inc.および共同創設者 Mahendra Rao 博士とのiPS 細胞医薬品の共同研究に関する基本合意のお知らせ」にてお知らせしている通り、両社は中枢神経領域の疾患を対象としたiPS細胞由来再生医療製品の開発に関する共同研究に着手しております。

今回、合弁会社を通じて、品質や量産性に優れたiPS細胞由来GRPの開発を、リスクを減らしつつ効率的に行うことで、事業化に向けた動きを加速させていくことに基本合意いたしました。なお、当社から合弁会社への出資比率や合弁会社の設立場所等の詳細事項につきましては現時点で未定です。

※1 アメリカ食品医薬品局 (Food and Drug Administration: FDA)

医薬品などについて、その許可や違反品の取締りなどの行政を専門的に行う政府機関。

## 2. 合弁相手の概要

(1) 名称	Q Therapeutics, Inc.	
(2) 所在地	417 Wakara Way, Suite 3510, Salt Lake City, Utah 84108 USA	
(3) 代表者の役職・氏名	CEO Steven Borst	
(4) 主な事業内容	再生医療製品の開発	
(5) 資本金	未上場企業のため非開示	
(6) 設立年月日	2002年3月	
(7) 大株主及び持株比率	未上場企業のため非開示	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当なし
	人的関係	該当なし
	取引関係	該当なし (ただし、共同研究についての基本合意あり)
	関連当事者への該当状況	該当なし
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態	未上場企業のため非開示	

### <Q Therapeutics Inc.について>

Q Therapeutics Inc. (米国ユタ州、ソルトレイクシティ) は中枢神経系疾患および損傷を治療するための再生医療製品の開発を行っている企業です。

同社の最初の再生医療製品であるQ-Cell®は、体内で神経グリア細胞に分化し、疾患によってダメージを受けた中枢神経の機能を回復または維持することが期待されています。

Q-Cell®は、多発性硬化症 (MS)、横断性脊髄炎 (TM)、脳性麻痺、脳卒中、筋萎縮性側索硬化症 (ALS)、ハンチントン病、脊髄損傷、外傷性脳損傷およびアルツハイマー病といった、広範囲の中枢神経障害を治療する目的に適しています。

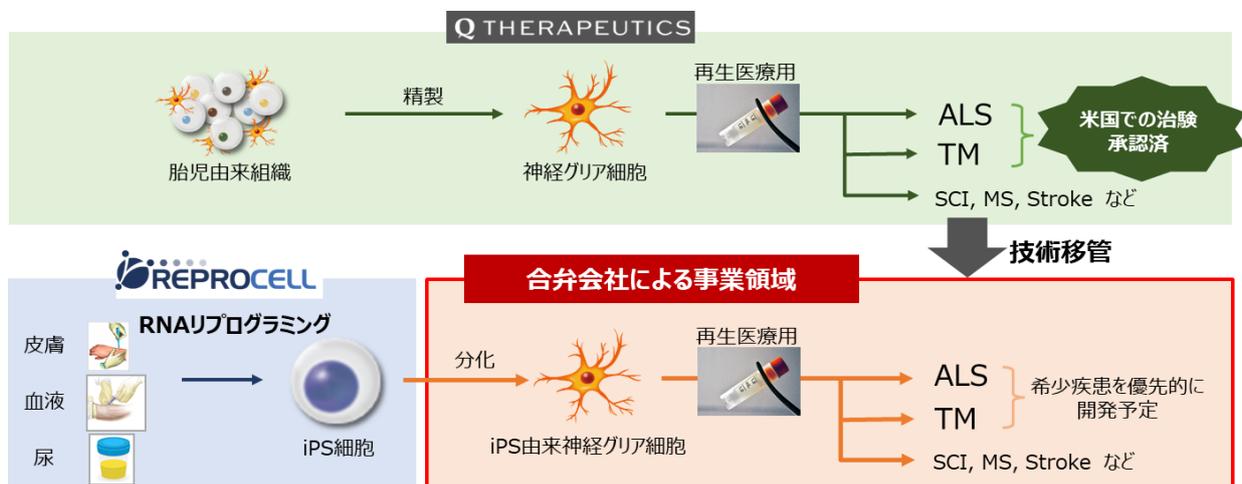
現在、米国FDAによってTMおよびALSを対象とした早期臨床試験の実施にかかる承認が得られています。

## 3. 今後の見通し

合弁会社の詳細及び今後の日程等に関しては未定であり、決定次第速やかに開示いたします。

本件が当社の平成30年3月期連結業績に与える影響は軽微と考えておりますが、開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。

以上



合弁会社による事業領域イメージ